

大腿骨頭壊死

四十六歳です。約十年前から仕事で重さ二十五キロのそば粉の袋を一日に三十一、四十袋ほど運んでいました。二年前から左足の付け根が痛み、今年九月に検査した結果、左大腿骨頭壊死と診断されました。水もたまっているようで、しびれもあります。今の時点では手術を必要はないということですが、不安です。どのような薬や治療方法があるのでしょうか。これからの仕事を続けても大丈夫なのでしょうか。

(東京都足立区 男性)

体の悩み聞いて効く



小田切研一 院長

この病気は股関節内の大腿骨上部が崩れた病気で、発症時は痛み止めの内服薬や、はり薬の保存的治療を行います。歩行が困難になると、骨の一部を切り取ったり、人工関節を入れる手術が一般的です。しかし、こわらに危険な合併症を伴い、手術がうまくいっても術後の歩行が困難になるなど、万全の治療法ではあきません。

最近、注目されているのが加圧トレーニングです。ボディアビルダーの佐藤義昭氏が筋力増強法として発明・特許

再生治療に加圧トレーニング

は毎日壊され、新しい細胞に置き換えられています。加圧トレーニングで骨の再生が可能となったことを考えると、大腿骨頭部はほかの組織より再生が遅れているだけで、完全に再生不可能になったわけではないようです。

つまり再生促進であり、加圧トレーニングで血漿を増加させ、成長ホルモンの分泌を促して、骨の再生成長を促進させることにより治っていくと考えられます。私の病院では多くの人に加圧トレーニングを行いました。副作用は一切もけていません。加圧トレーニングにはまだ未知のことがたくさんあるようですが、日本加圧トレーニング学会が設立され、研究が始まっています。

(日本加圧トレーニング学会理事・小田切病院院長 小田切研一)

相談は03-5561-8800
 健康新聞社文化部「聞いて効く」係 FAX 06-6663-31940へ。